

は し が き

ある中学校の校長先生が「学校経営は学級経営である」と言っていたことを思い出します。つまり、一つ一つの学級がうまく経営されていれば学校経営は何の心配もいらない、したがって学級経営のための環境を整えたり、その条件整備をすることを校長の一番の仕事としているというのです。

また子供達にとっても、学級経営のよしあしは、その子の学校生活を左右しかねない重要な問題です。なぜならば、子供達の学校での生活はほとんど学級の中であり、それが「勉強しやすく、また友達同士の仲がよい」となれば、子供は喜んで登校するのではないかと思います。

ところで、このように重要な意味をもつ学級経営も、これまで、どちらかと言えば軽視され、研修の対象にはなりませんでした。しかし近年、社会の情勢や子供達自身の急激な変化により、「学級経営がうまくいかない」という悩みを抱える教師が大変多くなってきました。単なる「若さ」や「経験とカン」だけではうまくいかない時代になってきたようです。したがって、現場においても「学級経営に関する体系的な研修」の必要性が高まっています。

このような時期に、「中学校の学級経営の手引き」となることをめざした本書が刊行されることは、少なからず現場の実践の手助けとなるのではないかと考えております。県下の各学校や先生方に広く活用され、中学校における学級経営がますます充実し、活性化されることを願ってやみません。

平成2年3月 日

新潟県立教育センター

所長 海 藤 是 夫